

海洋プラスチック

～秋田の意識向上～

国際教養大学2年 森山 遥月

01

ビジョン

02

現状

アジェンダ

03

タイムライン

04

アクションプラン

秋田の海の現状 (桂浜海水浴場)

7月7日 桂浜海水浴場（秋田市）

試験的なゴミ拾い、現状調査

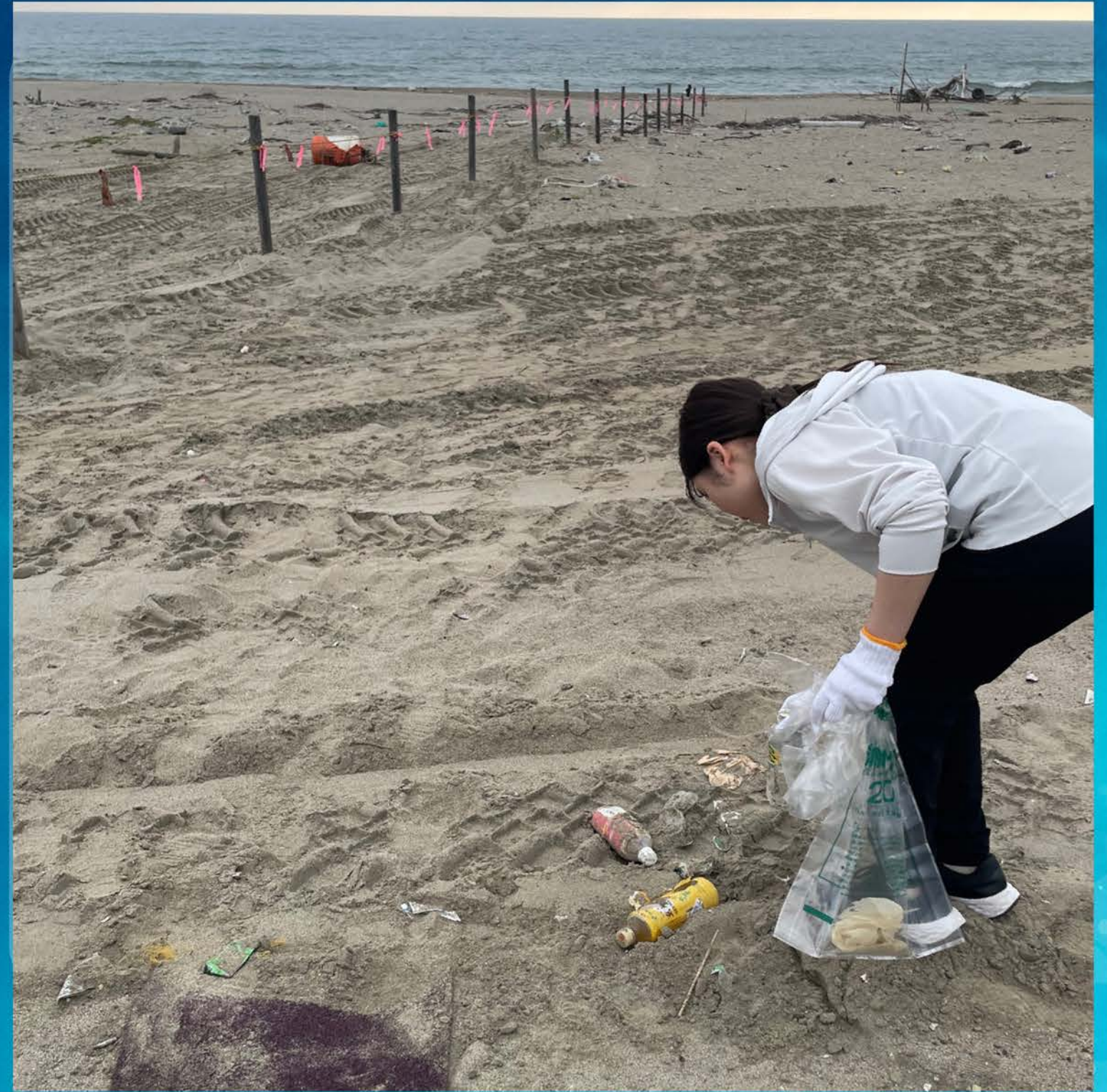
- 1時間弱で20lゴミ袋×10袋分のゴミが集められた
- 回収しきれていない



秋田の海の現状

環境省（2024.3）によると...

- 秋田県の海岸のペットボトルの約7割が日本語表記
- 海外から漂着するゴミだけでなく、海水浴場を利用する人々によってもゴミが捨てられている



ビジョン

より多くの人々が海洋プラスチックについての知識を持っている、それに配慮した行動をとることができる社会

中間目標

地域の人々が問題について身近に感じられるようにする

アウトプット

アクセサリーを売る、説明をすることで問題に気付いてもらう

行動内容

→アクションプラン

タイムライン

7月	ゴミ拾い、現状調査
8月	各自アクセサリー試作
9月	ゴミ拾い、アクセサリー制作
10月	アクセサリー制作、学園祭で販売
11月	AIUマルシェで販売、ワークショップ（学内）
12月	ワークショップ（秋田駅周辺）

アクションプラン

01

秋田の海で
ゴミ拾い

02

アクセサリー
制作

03

アクセサリー
販売

04

ワークショップ
開催

1 秋田の海でゴミ拾い

- 学校の環境クラブで秋田の海水浴場でゴミ拾いを行う
- ゴミ回収とともに、海洋ごみの現状を調査する
- 7月、9月の2回
- 桂浜海水浴場（秋田市）



2 拾ったプラスチックから アクセサリ作り

- ゴミ拾いで集めたプラスチック（可能であればガラスなどほかの素材も）を加工してアクセサリや秋田にちなんだアート作品を制作する
- 8月：各自試作
- 9月：グループで制作



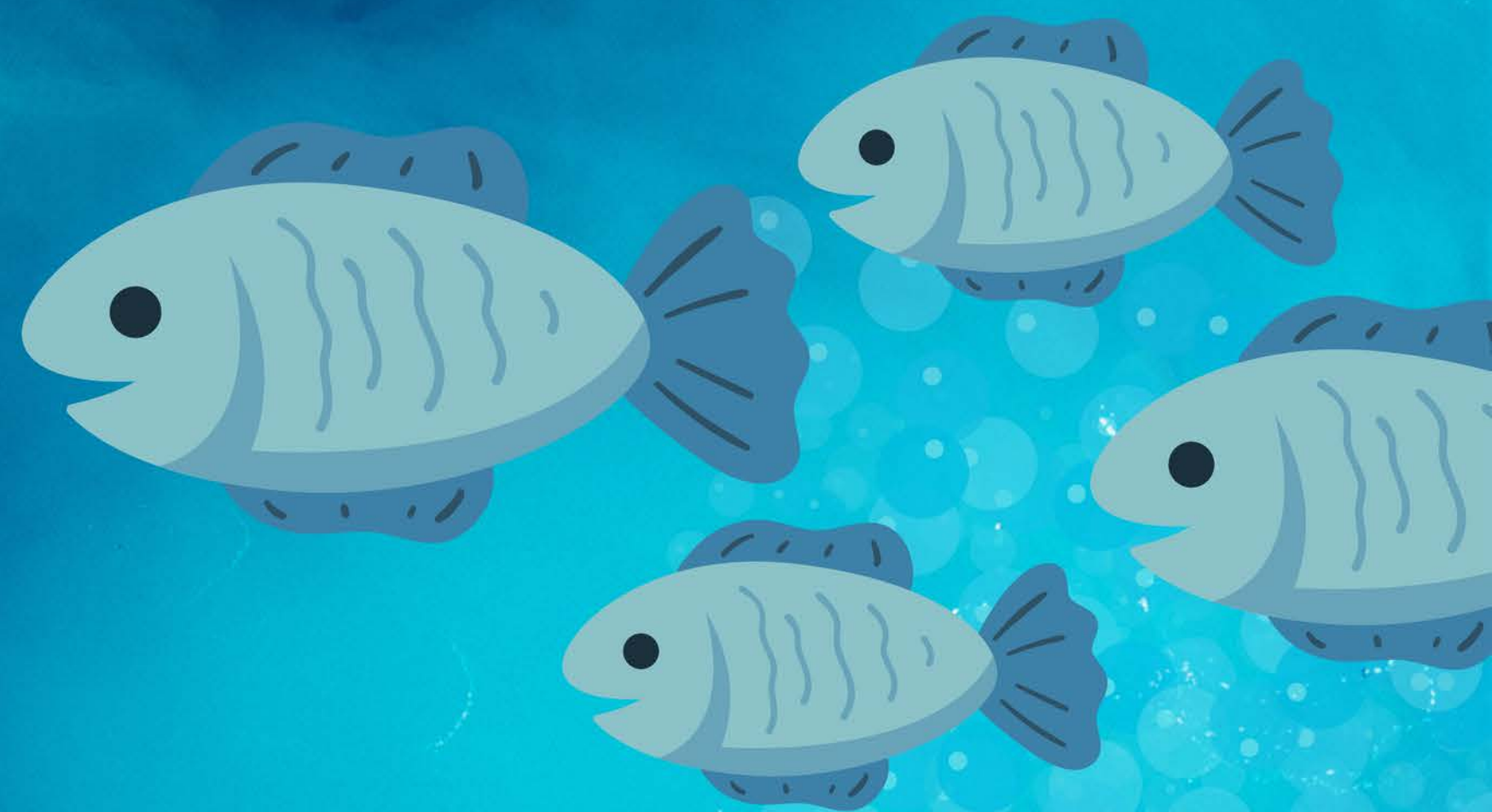
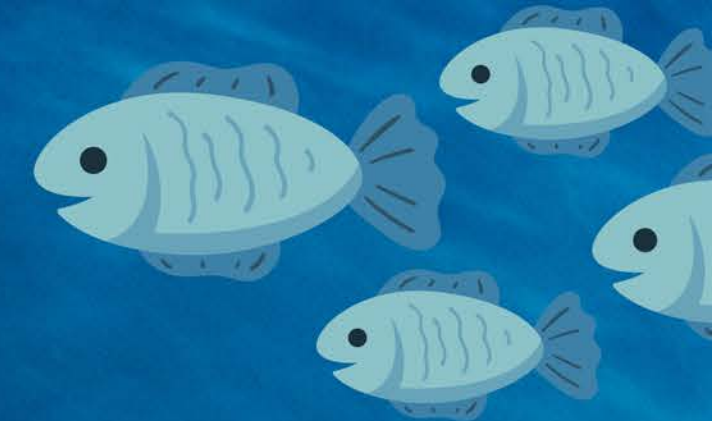
3 アクセサリーの販売



- 大学の学園祭やAIUマルシェという学内イベントで、制作したアクセサリーを販売する
- 秋田の海のゴミ問題や、アクセサリーが作られた過程を、口頭やチラシを通して説明する
- 10月：学園祭
- 11月：AIUマルシェ（学校のイベント）

4 ワークショップの開催

- 調査した現状やアクセサリー作りについてのワークショップを開催
 - 参加者で意見交換、ディスカッション
 - 参加前後にアンケート
-
- 11月：学内
 - 12月：秋田駅周辺



参考文献

環境省水・待機環境局海水環境課海洋プラスチック汚染対策室. (2024.3). 令和4年度漂着ごみ組成調査データ取りまとめの結果について. 環境省. <https://www.env.go.jp/content/000224793.pdf>

ご清聴ありがとうございました

国際教養大学 森山 遥月